

令和2年度
事 業 実 施 報 告 書

新潟市南区社会福祉協議会

新潟市南区社会福祉協議会事業報告

【概 要】

少子高齢化や核家族化の進行、人口の減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化や地域での孤立、また複合的な多問題を抱える世帯や個人が増加している現状は変わっていません。加えて、今年度は全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、多くの世帯が生活に困窮するという状況があり、南区内でも例外ではありませんでした。

このような中、南区社会福祉協議会では、そうした世帯からの相談に応じ、生活福祉資金特例貸付の申請窓口業務を担いました。このような状況を受けて、世帯の経済的負担軽減の一助として、ひとり親世帯及び貸付相談者、そして、コミュニティソーシャルワーカーが対応している世帯に対し、食料支援及び相談支援を行いました。

また、令和3年度からの6ヵ年計画である「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」策定のため、各地区において、コミュニティ協議会や関係団体の皆様と一緒に地域課題や今後の取り組みについて考えるため、座談会を開催し、6年間の活動の方向性を確認いたしました。

この他には、ボランティアに関わる活動支援や受援力、地域課題に関する各種講座の開催、ひきこもりに関する連絡会や家族の居場所の開催、そしてコロナ禍の状況から感染症に関するボランティア活動のガイドライン作成など積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

事業の実施状況について次のとおり報告します。

【事業実施状況】

1. 地域福祉推進活動事業

(1) 地区社協活動支援

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和 2 年 7 月 30 日 (木)	白根学習館 ラスペックホール	<ul style="list-style-type: none">・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について・令和 2 年度地区社会福祉協議会交付金について・令和 2 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について・南区社会福祉協議会業務依頼について・第 14 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について

○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

(2) ふれあい・いきいきネットワーク活動事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

	R2 (件)	2019(件)	H30(件)
取り組み件数	2	1	1

(3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

南区地域福祉アクションプラン第 2 期目（平成 27 年度～32 年度までの 6 年間）の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の 4 分野別及び地区ごとの地域福祉活動計画の評価会議を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

また、次期計画（第 3 期：令和 3 年度～8 年度）策定のため、分野別計画及び地区別計画策定のための分科会、地区ごとの座談会を開催し、目標設定について検討しました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和 2 年 6 月 24 日 (水) 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none">・南区地域福祉アクションプランの概要について・令和 2 年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取組みについて・地区別計画の取り組み状況について（各地区推進委員報告）・新潟市の地域福祉に関するアンケートの結果について・次期計画策定のスケジュール 2 次修正（案）について 他

回	開催日・会場	主な内容
2	令和2年8月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年度南区地域福祉アクションプランの取組みと評価（案）について ・分科会開催状況について ・地域福祉活動計画（地区別計画）策定の開催状況について
3	令和2年10月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・次期計画の構成（案）及び分野別計画素案第二次修正について ・地域福祉活動計画（地区別計画）策定の経過報告について ・今後のスケジュールについて
4	令和2年11月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・次期計画のパブリックコメント（案）について ・地域座談会の開催状況について
5	令和3年2月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果及び次期南区地域福祉アクションプランの最終案について ・令和3年度南区地域福祉アクションプラン（分野別計画）の取り組み（案）について ・令和2年度南区地域福祉アクションプラン（地区別計画）の取り組み状況について ・南区地域福祉アクションプラン（地区別計画）の評価方法について ・新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の一部改正について

（4）地域包括ケア推進事業

市から生活支援体制整備事業を受託し、2圏域の支え合いのしくみづくり推進員（ＳＣ）とともに、地域コミュニティ協議会をはじめ、自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の必要性について、住民の意識啓発に努めてまいりました。

南区第2層支え合いのしくみづくり会議事務局並びに推進員が不在となった味方・月潟圏域における支え合いのしくみづくり会議の開催等への、協力も行いました。

令和元年度に活動を始めた南区助け合い「お互いさま・新潟」（通称：南区お互いさま）の助け合いの活動を、コロナ禍でどのように進めていくか、南区版のガイドブック・マニュアルを整備し、お互いさまメンバーの研修会並びに情報交換会を開催しました。

また、活動拠点を新潟市地域包括ケア推進モデルハウスである天昌堂サロンで地域の茶の間開設日（火・木曜日）に来所での相談受付を開始しました。専用電話で12件の相談が寄せられ、住民同士の助け合いでできる内容について5件の手助けを行いました。

南区お互いさまの新たなチラシを作成し、支え合いのしくみづくり会議（協議体）構成員をはじめ、地区民生委員児童委員協議会、みなふくねっと等へ取組みについて説明を行い、周知のお願いをしました。

南区内で取り組んでいる住民主体の見守り、生活支援等の活動について発表する機会として、1月に支え合いのしくみづくりフォーラムを開催しました。講師をお迎えし、「コロナ禍における地域福祉活動について」と題しての基調講演、3団体から生活支援活動の立ち上げから活動内容、地域と多職種で取り組んだ弁当配食事業、自治会で取り組んでいる見守り活動等について報告していただきました。

見守り・生活支援、地域の茶の間等をまとめた新潟市社会福祉協議会発行の「つ・な・が・る～にいがたの地域力～」の南区版を作成し、区内の関係機関へ配布・設置しました。

3月に「南区支え合いのしくみづくり通信」を作成し、新聞折込みし、2025年を目指とした地域包括ケアシステムの構築について、区民への意識啓発を行いました。

○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

回	開催日	主な内容
第8回	令和2年 8月4日（火） 南区役所 4階 講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・南区第1層協議体構成員交代について ・令和元年度南区における生活支援体制整備事業報告 ・令和2年度南区生活支援体制整備における事業方針 ・南区第2層支え合いのしくみづくり会議の事業報告 構成員 20名（出席者 14名、欠席 6名） モデルハウス運営代表 1名 事務局 2名、区役所 2名、第2層SC 1名出席
第9回	令和3年 3月25日（木） 南区役所 4階 講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・南区第1層協議体構成員交代について ・令和2年度南区生活支援体制整備における事業実施報告 ・令和3年南区における生活支援体制整備事業方針 ・南区第2層生活支援体制整備事業報告 ・地域包括ケア推進モデルハウス「南区地域の茶の間 天昌堂サロン」実施状況について 構成員 20名（出席者 9名、欠席 11名） 事務局 2名、区役所 2名、第2層SC 2名出席

○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	回	開催日	会場
臼井・白根北圏域	第1回	令和2年11月20日（金）	大通地域生活センター
白南・白根第一圏域	第1回	令和3年3月	書面による事業報告
味方・月潟圏域	第1回	令和2年10月8日（木）	月潟出張所
	第2回	令和2年12月18日（金）	味方出張所
	第3回	令和3年1月28日（木）	新潟テルサ

○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和 3 年 1 月 24 日 (日) 13:30~15:30	白根学習館 ラスペックホール	<p>第1部 基調講演 演題：「コロナ禍における地域福祉活動について」 講師：新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 青木 茂 氏</p> <p>第2部 パネルディスカッション ○小林コミュニティ協議会 【お助け隊こばやしの取組みについて】 小林コミュニティ協議会 副会長 青木智子 氏 健康福祉部長 佐久間栄子 氏</p> <p>○庄瀬地域コミュニティ協議会 【食べる・しゃべる・笑う元気弁当事業】 庄瀬地域コミュニティ協議会事務局 西山ゆき 氏</p> <p>○大通西自治会 【ふれあいねっとの取組みについて】 ふれあいねっと 部会長 西野伸治 氏 副部会長 長谷川曹一氏</p> <p>○コーディネーター 青木 茂 氏 参加者 約 300 名</p>

○南区助けあい「お互いさま・新潟」(通称：南区おたがいさま)の活動

【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

日常生活に関する手助けが必要な人と手助けできる人が「お互いさま」という気持ちでつながる有償の助け合い活動を行いました。

令和2年度相談件数：12件

- ・買い物や掃除、除雪、草取りといった生活に関する相談
- ・福祉サービスの利用に関すること、見守りに関すること等

令和2年度実働件数：5件

- ・買い物、掃除、草取り (いずれも継続的に支援を実施)

※実働につながらない相談は他の福祉サービスや福祉相談機関へ繋ぐ等の対応を行いました。

	白井・ 白根北圏域	白南・ 白根第一圏域	味方・ 月潟圏域	事業所・ その他	計
新規相談件数	2	8	1	6	12
活動(対応)件数		5			5

【ガイドブック研修会並びに情報交換会】

南区お互いさまの登録者・南区助け合いの学校修了者を対象に研修会並びに情報交換会を開催しました。

開催日：令和2年9月24日(木)

①10:00～11:30（参加者11名）②13:30～15:00（参加者17名）

会場：白根学習館 プレイルーム

2. 区社協見守り・生活支援事業

（1）地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流事業を実施する地域の茶の間・ふれあいきいきサロンの立ち上げ支援や助成を行いました。

4～5月は新型コロナウイルス感染症拡大により運営の自粛を呼びかけ、6月の再会時には、感染症予防のチラシを作成して配付し、非接触型体温計の貸し出しをするなど運営に関する支援を行いました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに56実施団体の情報を掲載しました。

なお、支え合いのしくみづくりについて説明を行いながら、地域の茶の間・ふれあいきいきサロンから助け合いや介護予防活動につながるよう周知に努めました。

○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数							
	高齢者			子育て				高齢者			子育て				
	市助成		助成無	市助成		助成無		市助成		助成無	市助成		助成無		
	月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	不定期開催	季節開催等	区社協助成		月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	不定期開催	季節開催等	区社協助成		
	新飯田	2			1	1	鷺巣	2							
	茨曽根	3			2		根岸	1			4				
庄瀬	1		1	1			大通	3			2				
小林	3			2			白根	11	1	1	1				
臼井	3						味方	3			6				
大郷	1			2			月潟	4		1	1				
(市助成金活用団体) 合計41か所							合計	37	1	3	22	1			
月1タイプ(30,000円)／37か所、							合計					63(64)	1(3)		
月2タイプ(60,000円)／1か所															
モデルハウス天昌堂サロン／1か所															
週1タイプ(240,000円)／2か所															

※（ ）内は前年度数

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
ふれあい親子まつり	令和2年11月14日 (土) 10:30~11:30 サルナート吉運堂 5階万葉の間	講師 NAMARA MINA さん ・バルーンアート ・親子あそび 参加者：親子12組 (大人14人／子ども16人) 協力：ボランティア(3人)、社協(2名)
子育て交流事業	(対象団体) 児童センター 4箇所 子育て支援センター 4箇所	親子で楽しめる、子どもが元気になる、保護者も笑顔になる交流事業に対し、助成を行いました。 ・大型絵本の読み聞かせ ・昔遊び 等
南区ボランティア・ 地域の茶の間・サロ ン交流会	令和2年12月8日(火) 13:30~15:30 サルナート吉運堂 5階万葉の間	・コロナ禍に体が元気になる講話 ・活動発表 1ボランティア団体、2サロン ・参加者 63人
地域の茶の間・いき いきサロン研修会 (開催中止)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域の茶の間・ふれ あいいきいきサロン 助成事業報告及び申 請書類作成相談会	令和3年3月10日(水) 17日(水)、26日(金) 29日(月)、30日(火) 31日(水)	・令和2年度事業実績報告書、収支決算書、令和3年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会

(2) おせち料理等宅配事業

12 地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、昼食会を配食サービスに代替するなど各地区で工夫した取り組みがされました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱等訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	43	12
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	116 (3回配食)	40	22
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	35 (配食)	—	34
小林地区社協	民生委員、自治会長	—	250	30
臼井地区社協	地区社協、民生委員	—	105	35
大郷地区社協	地区社協、民生委員	74 (配食2回)	204	22
鷺巣地区社協	地区社協、民生委員	106 (配食)	20	12
根岸地区社協	地区社協、民生委員	—	—	22
大通地区社協	地区社協、民生委員	30 (配食)	144	32
白根地区社協	地区社協、民生委員	184 (2回配食)	—	195
味方地区社協	民生委員	—	—	48
月潟地区社協	民生委員	43 (配食)	101	53
合 計		588人 (875人)	907人 (827人)	517食 (515食)

※（ ）内は前年度数

(3) コミュニティソーシャルワーク事業

関係機関と情報共有や連携を行いながら、個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で生活できるよう継続的に関わりました。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、社会状況に合わせてひとり親世帯や生活困窮世帯へ食料支援事業を実施しました。食糧支援実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症により休業や給与の減額から生活に困っている世帯の状況がうかがえ、さらに個別の相談へつながった世帯もありました。

また、今年度の多職種ネットワーク会議は「ひきこもり」をテーマに講座を開催し、後半は日頃家族が抱えている悩みなどを共有できる「家族の居場所」を設けました。

昨年に引き続き継続的な取り組みを行い、個別支援から見えた地域課題に対し、関係機関と新たな社会資源の検討や取り組み、地域への情報発信に努めました。

なお、課題に対する取り組みは次のとおり行いました。

回	開催日	主な内容
1	令和2年7月17日(金) 7月18日(土)	ひとり親世帯へ食料支援（協力：区健康福祉課児童福祉係、JAにいがたみらい、アグリパーク、フードバンクにいがた）
2	令和2年10月15日 (木)	ひきこもり支援連絡会（共催：新潟市ひきこもり相談支援センター）
3	令和2年11月21日 (土)	多職種ネットワーク会議 テーマ：「ひきこもり講座～ひきこもりの正しい理解と支援について」 講師 長岡崇徳大学 斎藤 まさ子 先生 (協力：新潟地域若者サポートステーション)
4	令和2年12月20日 (日)	まごころの記録、親心の記録 書き方講座 (共催：南区手をつなぐ育成会、南区肢体不自由児者父母の会)
5	令和3年3月13日(土)	ひきこもりに悩んでいる家族の居場所

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区社会福祉協議会として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について、講演会並びに研修会の開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
令和3年2月7日(日)	白根学習館ラ スベックホー ル及びオンライン	在宅医療・介護の区民公開講座 ・講演：「コロナ禍で自らの生命（いのち）と健康（くらし）を衛（まもる）ための「新しい生活様式」とは？ ・参加者 約130名
令和3年1月19日(火) 令和3年2月16日(火) 令和3年3月16日(火)	南区健康福祉 センター及び オンライン動 画配信	ご当地連携研修会 ・テーマ：新潟医療関連感染制御コンソーシアム(CHAIN)と連携した介護施設および障がい福祉サービス事業所等に対する感染症対策研修会 ・参加者：南区内医科・歯科診療所医師をはじめ40人

(4) 心配ごと相談事業

毎月第2・第4水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会に参加し、相談員としての資質向上に努めました。

[心配ごと相談所相談件数]

区 分	R2	2019	H30
開催日数 (回)	28	24	26
相談件数 (件)	9	9	12

[研修会]

日時・会場	主な内容	参 加 人 数 (人)
令和2年9月10日(木) 市総合福祉会館	「人生いろいろ よろず相談」Part9 ～法律相談の基礎知識から最新の相談事例まで～	7
令和3年2月17日(水) 市総合福祉会館	相談員の心構え「よく聞くということ」	10

(5) 生活福祉資金貸付制度の推進

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

令和元年度3月から受付している生活福祉資金特例貸付においては、新型コロナウイルス感染拡大による休業や失業のための収入の減少で生活に困窮した世帯の相談支援を行いました。相談を受ける中で、未だ収束しない不安や今後の家計相談をしたいなど声をいただいているため、関係機関等と引き続き連携する必要があります。

[新規貸付件数]

資金名		R2(件)	2019(件)	H30(件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	1	0	0
	教育支援資金	1	0	1
	不動産担保型 生活資金	0	0	0
合 計		2	0	1

[貸付件数]

特例貸付(コロナ) [2020 年度]	緊急小口資金	77
	総合支援資金	14

○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数 (件)	サービス利用者数 (件)	契約終了件数 (件)
1 (3)	14 (15)	2 (4)

() 内は前年度数値

○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

＜令和 2 年度配布内訳＞

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計 (本)
新飯田	6	2	0	0	0	2	10
茨曽根	0	1	0	0	0	0	1
庄瀬	0	0	0	0	0	0	0
小林	0	0	0	0	0	0	0
臼井	4	0	1	0	0	0	5
大郷	0	0	0	0	0	0	0
鷺巣	0	0	0	0	0	0	0
根岸	10	1	0	0	0	0	11

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計(本)
大通	2	6	0	0	0	0	8
白根	9	3	0	0	0	0	12
味方	0	0	0	0	0	0	0
月潟	1	0	0	0	0	0	1
施設	0	0	0	0	0	0	0
合計	32	13	1	0	0	2	48

*令和2年度末までの総配布数 1,111 本(うち 135 本有償)

3. ボランティアの育成と活動支援

(1) ボランティア・市民活動センター運営事業

高齢者施設等でボランティア活動が休止している中、活動の縮小とともに団体の縮小や解散につながらないよう、団体登録やボランティア保険加入の際に、活動状況の確認や会員の様子を聞きとるなど細やかな声掛けをし、団体の状況把握に努めました。

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	5	1	6	2	1	1	33	1	50
所属人数	70	37	85	66	17	20	686	38	1019
個人人数	3	4	0	0	0	0	0	4	11

○ボランティア保険加入

活動保険(人)	行事用保険(件)
527	490

○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい(件)	ボランティア 欲しい(件)	情報提供 したい(件)	情報欲しい(件)	計(件)
5	7	1	36	49

○ボランティア・市民活動センター運営委員会

運営委員会はコロナ禍で1回のみの開催となり、11月にそれまでに実施した事業について報告を行い、ご意見やアドバイスをいただきました。

区分	R2	2019	H30
運営委員会回数(回)	1	1	—
運営委員数(人)	6	5	—

○南区ボランティア・市民活動センターだより

ボランティア情報紙は、コロナ禍を利用して発行を6月に前倒しし、地域における災害時の研修や訓練等を支援するため、災害NPO法人のロングインタビューを発行しました。2月には、社協だよりとの合併号を作成し全戸配布を行いました。

区分	部数	配布先
6月発行 No.9	650部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先
2月発行 No.10	1600部 ※新聞折込 12,000部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先

○大雪対応

令和2年度は年明けから除雪ボランティアや屋根の雪下ろしなど降雪、積雪に伴う問合せが多く寄せられました。

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちボランティア活動人数
相談件数	17	3	11	31	2

（2）災害ボランティアセンター運営事業

○災害ボランティアセンター検討委員会

前半は設置訓練の内容の検討、防災学習の取り組みについて説明及び報告を行いました。訓練実施後は、訓練の振り返り及び次年度の検討委員会の事業計画について検討しました。

区分	R2	2019	H30
検討委員会回数（回）	4	5	6
検討委員数（人）	8	9	10

＜実施状況＞

開催日	内容	参加委員数（人）
令和2年6月15日（月）	新規メンバー顔合わせ、令和2年度訓練内容検討	10
8月17日（月）	令和2年度訓練内容検討	7
12月21日（月）	令和2年度訓練の振り返り、南区防災学習の講師派遣の報告、令和3年度事業計画について意見集約	6
令和3年2月15日（月）	令和3年度事業計画について	9

○災害ボランティアセンター設置訓練

令和2年度の設置訓練は、令和元年度に行った図上訓練の実地検証に加え、県社協よりコロナ禍の災害ボランティアセンター運営についての講義、災害NPOよりコロナ禍の災害支援の活動報告をしていただき、コロナ禍における災害時の対応について考え、検討しました。

区分	R2	2019	H30
設置訓練参加者数(人)	19	24	86

＜実施状況＞

開催日	会場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和2年10月25日(日)	味方体育館、味方地区公民館	南区災害ボランティアセンター設置訓練 白根青年会議所、南区赤十字奉仕団、南区役所地域総務課、健康福祉課、南区社協	19

○地域防災（防災学習）

令和2年度から新たに地域防災出前講座を企画し、各自治会や自主防災会に向けて防災学習の講師派遣を呼びかけ、9地域9団体が防災学習を開催し、地域における災害時の役割について周知しました。

区分	R2	2019	H30
防災学習参加者(人)	315	—	—

＜実施状況＞

開催日	会場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和2年7月19日(日)	曲屋	蓑口町内会(白根地区)	23
9月17日(木)	庄瀬地域生活センター	庄瀬地区自主防災会	37
10月4日(日)	根岸地域生活センター	根岸地域自主防災会	40
10月18日(日)	茨曽根地域生活センター	茨曽根地区自主防災会	26
11月18日(水)	臼井地域生活センター	臼井地区自主防災会	24
11月19日(木)	新飯田商工会館	地域の茶の間てんぐの会	23
11月29日(日)	ラスペックホール	白根南部防災会	84
12月15日(火)	庄瀬地域生活センター	南区女性防災士会	16
3月9日(火)	アグリパーク	大郷地区コミュニティ協議会	42

(4) ボランティア・市民活動育成事業

○ボランティア講座・交流会

きっかけづくり講座では、障がい児者を持つ親に向けて、親亡き後のお金についての講座を開催し、支援を受ける側の受援力の強化を目指しました。担い手講座は、地域の課題である移動・外出支援についての勉強会を開催しました。コロナ禍対策として、講師と当会、味方健康センターをオンラインでつなぎ多くの方々にご参加いただき、今後の取組の方向を探る機会といたしました。

区分	R2	2019	H30
ボラ講座参加者数（人）	102	29	169
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）	63	119	87
施設研修会参加数（人）※1	107	16	19

＜実施状況＞

開催日	事業名	参加者数（延べ人数）
令和2年9月27日(日)	ボランティアきっかけ作り講座（受援力強化）	41
令和3年2月26日(金)	ボランティア担い手講座	61
中止	中学生ボランティア交流会	—

○ボランティア受入施設担当者研修会 代替え事業 ※1

コロナ禍でボランティア受け入れが実施できない施設とボランティア自身に向けて活動状況のアンケートを配布し、それを集計した結果をもとに「ボランティア活動を受け入れる・する」にあたっての心配事等を洗い出し、感染症専門家に協力いただいて、コロナ禍のボランティア活動ガイドラインを作成しました。

＜実施状況＞

実施月	事業名	回答者数
令和2年9月	コロナ禍におけるボランティア活動アンケート 施設編	30
令和2年11月	コロナ禍におけるボランティア活動アンケート ボランティア編	77

(5) 福祉教育推進事業

コロナ禍対応でアイマスク体験と車いす体験を中止した代替えとして、視覚障がい者との交流授業とセットで新プログラム・音声訳ボランティア体験を実施しました。大人を対象とした福祉教育では、企業へのボランティア講座や消防職員の高齢者体験を実施し、実際に避難の際に結び付く支援を学んでいただきました。

区分	R2	2019	H30
福祉教育実施学校（校）	8	12	11
大人の福祉教育実施（回）	2	3	1

<実施状況>

対象	内容	回	参加者数(延べ)
新飯田小学校 4年生	福祉について、当事者交流（視覚及び聴覚）、ボランティアについて、音声訳体験、ブラインドサッカー	6	72
庄瀬小学校 4年生	福祉について、視覚障がいについて、高齢者体験、当事者交流（視覚）、音声訳体験	5	65
小林小学校 4年生	福祉について、高齢者体験、当事者交流（視覚）	3	102
根岸小学校 4年生	福祉について、聴覚障がいについて、当事者交流（聴覚）	3	72
大通小学校 3年生	福祉について、高齢者体験 ※3クラス	6	122
味方小学校 4年生	福祉について、視覚障がいについて、当事者交流（視覚）、音声訳体験	4	172
月潟小学校 4年生	福祉について、視覚障がいについて、高齢者体験、当事者交流（視覚）、音声訳体験	5	140
白根高等学校 3年生	ボランティアについて、当事者交流（視覚）、音声訳体験	3	24
株式会社レックス	福祉とボランティアについて	1	8
新潟市南消防署	福祉について、車いす体験、高齢者体験	3	72

4. 区社協広報・啓発活動事業

(1) ウエブセミナーの開催（南区社会福祉大会並びに健康福祉フェア中止に伴う代替事業）

コロナ禍により人や地域との交流の機会が減ったことから、人と人や地域がふれあい、つながることの大切さを考える機会として、「コロナ禍における新たなつながりや日常生活のあり方を考える」セミナーをウェブにより開催いたしました。

視聴期間	主な内容
令和3年3月29日（月） ～令和3年5月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部 コロナ禍における上手なストレス解消と日頃の過ごし方 ～認知症の予防も含めて～ 白根緑ヶ丘病院 認知症疾患医療センター 院長 佐野英孝氏 ・第2部 コロナを吹き飛ばすほっこり、元気になれるメッセージ！ フリーアナウンサー 伊勢 みづほ氏 新潟医療福祉大学 社会福祉学科 佐藤花保氏 新潟医療福祉大学 社会福祉学科 佐野日香氏 ・第3部 Withコロナ時代の自分活動・地域活動 ～つながりを絶やさないために～ 新潟医療福祉大学 副学長・社会福祉学部長 丸田秋男氏 白根緑ヶ丘病院 認知症疾患医療センター 院長 佐野英孝氏

(2) 広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第44号	令和2年7月5日（日）	地域の活動紹介、コロナ禍での社協取り組み案内、R2年度事業計画・予算、R元年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、共同募金実績報告、ボランティア団体紹介、情報キット案内、地域サロンの新習慣、防災出前講座の案内、南区健康福祉フェアのお知らせ、マスク寄付とBOX設置のお知らせ、防災学習出前講座案内、心配ごと相談所のお知らせ、他

区社協だよりみなみ 第45号	令和2年9月27日(日)	地域福祉活動計画座談会の様子、南区健康福祉フェア開催中止のお知らせ、地域の活動紹介、ひとり親世帯支援、非接触型体温計の貸し出し、ファミリーサポートセンター、心配ごと相談所お知らせ、障がい者期間相談支援センター、賛助会員企業お礼、共同募金運動協力のお願い、共同募金公募型助成案内、新潟市社協事業報告・決算報告書、地域の茶の間・子育てサロンMAP、
区社協だよりみなみ 第46号 ※合併号	令和3年2月21日(日)	地域福祉活動計画完成のお知らせ、web セミナー開催のお知らせ、寄付御礼、R2年度表彰報告、共同募金運動・法人募金事業所報告、ひきこもり講座の報告と家族の居場所の案内、心配ごと相談所のお知らせ、他
区ボランティア・市民活動センターだより No.9	令和2年6月中旬	NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏ロングインタビュー、コロナ禍対応について
区ボランティア・市民活動センターだより No.10 ※社協だよりとの合併号	令和3年2月中旬	移動、外出支援の勉強会の告知、新潟市南消防署が高齢者体験、コロナ禍の新プログラム・音声訳体験、防災出前講座の受講者約300名、コロナ禍の活動ガイドライン作成、助成金取得報告、他

5. 区社協運営事業

(1) 理事会の開催状況

区分	開催日・会場	協議題
第1回理事会	令和2年6月4日付 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面表決	<ul style="list-style-type: none"> 理事の一部選任について 令和元年度南区社協事業実施報告について 令和元年度南区社協収支決算について 共同募金追加配分によるひとり親世帯等への生活支援事業の実施について
第2回理事会	令和2年9月8日付 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面表決	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度南区社協会長表彰被表彰者の選考について 理事の一部選任について
第3回理事会	令和3年3月16日(火) 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度南区社協事業計画(案)について 令和3年度南区社協収支予算(案)について 役員の改選について

(2) 監事会の開催

区分	開催日・会場	監査事項
監事會	令和2年5月28日(木) 南区社会福祉協議会 1階相談室	・令和元年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・令和元年度南区社会福祉協議会収支決算について

(3)会員会費の納入状況(目標額：1世帯 500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	488	481	98.6	240,500
茨曾根	424	409	96.5	204,500
庄瀬	640	637	99.5	318,500
小林	1,177	964	81.9	482,000
臼井	967	822	85.0	411,000
大郷	454	414	91.2	207,000
鶴巻	518	489	94.4	244,500
根岸	1,170	1,001	85.6	500,500
大通	2,283	1,980	86.7	990,000
白根	3,687	2,832	76.8	1,415,600
味方	1,268	1,025	80.8	512,100
月潟	1,137	1,021	89.8	510,500
合計	14,213 (14,230)	12,075 (12,019)	85.0 (84.5)	6,036,700 (6,008,460)

※()内は前年度数値

(4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人	81人	53,500円	(110人 83,050円)
法人	22社	135,000円	(23社 140,000円)

6. 市受託事業の推進

(1) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数	主な内容
白根健康福祉センタ ー 2 階	火～金曜日 (祝日休)	164 日	1,024 人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

(2) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区 分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数 (施設)
	開催数 (回)	参加者数 (人)		
令和 2 年度	3	3	(新規) 3	2
累 計	226	177	147	47

○元気力応援事業

令和 2 年度はコロナ禍で福祉施設が活動を休止している関係で、積極的な登録呼びかけや活動案内を行うことができなかった代わりとして、南区社協を会場に清拭切り等の活動を元気力応援事業として行いました。

区分	R2	2019	H30
元気力応援事業 (人)	22	—	—

<実施状況>

開催日	全参加者数	サポーター参加者数
令和 2 年 11 月 12 日 (木)	7	6
令和 2 年 12 月 10 日 (木)	6	6
令和 3 年 1 月 14 日 (木)	0	0
令和 3 年 2 月 18 日 (木)	5	5
令和 3 年 3 月 11 日 (木)	6	5

7. 共同募金事業の推進

[令和2年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区分	令和2年度 目標額	令和2年度 実績額	達成率	令和元年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,550,000円	6,426,172円	98.1%	6,818,851円	△392,679円
歳末募金	3,000,000円	3,039,727円	101.3%	2,884,086円	155,641円
合計	9,550,000円	9,465,899円	99.1%	9,702,937円	△237,038円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,235,616円	81.5%
法人募金	763,264円	11.9%
学校募金	227,770円	3.5%
街頭募金	0円	0%
職域募金	119,354円	1.9%
イベント募金	0円	0.0%
その他募金	80,168円	1.2%
合計	6,426,172円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,943,652円	96.8%
職域募金	96,074円	3.2%
その他募金	1円	0.0%
合計	3,039,727円	100.0%